

地域社会への貢献事業 ～団塊世代の生きがい活動支援「未来塾」について～

取り組み内容のポイント

趣味の会（未来塾）の活動をとおして近隣にお住まいの団塊世代の方々の生きがい活動、ネットワーク作りの支援を行い、将来的にはボランティア指導者を育成、地域社会に貢献できればと考えている。

奈良県

社会福祉法人

正和会

〒637-0077 奈良県五條市大沢町5-25

TEL：0747-24-4455 FAX：0747-23-6226

❖法人設立年

平成5年

❖法人実施事業

①経営施設数合計：3施設

②経営施設・事業【種別毎の数】：

特別養護老人ホーム…1、通所介護…1、ケアハウス…1、認知症対応型通所介護…1、老人保健施設…1、通所リハビリテーション…1、訪問介護…1、居宅介護支援…2、認知症対応型共同生活介護…1

❖法人の理念・経営方針

理念…われわれ正和会は地域における最高の福祉の充実を目指し日々精進することを旨とする

方針…われわれ正和会は単なるサービス業として受け止めるのではなく福祉という崇高なる理念に基づき情報も含むあらゆるサービスの提供改善に努めます

❖取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款記載の有無：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

❖活動内容

◇活動開始年：平成21年12月

◇活動の対象者：

近隣にお住まいの団塊世代の方(概ね60才以上)

◇活動の頻度・時間：月12回 1回2時間

◆活動実施の背景、実施にいたった理由

定年退職後の生活、子供の自立後の生活を早いうちから計画をたてて迎える人は、そう多くはない。のんびりと、そして生きがいある充実した毎日を過ごしたい人、地域に貢献したいと思いつつ何をしたらいいのかも解らないまま日々過ごしている方も多いと話を聞いている。また、高齢になるほど地域社会との接点も少なくなり、家に閉じこもりがちになる。これらは心身共に弱体化させ、ひいては認知症、要支援（介護）状態の引き金になることも懸念される。趣味活動は外出の機会を増やし、新しい仲間をつくることができ、はりのある毎日へと通じるが、「60の手習い」は費用がかかり、思うようにならないのが現実。法人は趣味活動の資金、指導者、場所の提供、「一度やってみたかった」ことをやれる環境づくり、長期的な視点から介護予防・生きがい支援と位置づけ、地域社会への貢献事業として実施することとなった。

◆実施内容

平成21年12月から絵手紙、苔玉・ミニ盆栽づくり、竹細工、陶芸の各コース共1ヵ月に2回程度開催 1回2時間で各コース10名程度を定員としている。参加対象者は近隣にお住まいの団塊世代の方を中心にし、参加費は無料、材料代は自己負担としている。平成22年6月からトールペイント、パソコン（ワード、エクセル）を追加、指導はボランティア、低額な謝金で依頼している指導者、当法人職員が行っている。作品作りに関しては「自画自賛」をモットーに、気楽な雰囲気活動し、その後はお茶とお菓子とおしゃべりで盛り上がるサロンのような場所としても楽しい時を過ごしている。また、多くの方に作品を見ていただき創作意欲を高める為、展示する機会があれば出展し、広報活動も同時に行っている。（法人行事「ボランティアの集い」「秋穫祭」「チャリティーイベント」と地元のイベント「まきまつ」で作品展示）

◆活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

近隣にお住まいの方を対象に始めた事業であったが、回を重ねる毎に職員からも参加希望があり、現在は地域の方と職員が混合で活動しているコースもある。今まで福祉施設との関わりが全くなかった方が職員と交流することにより施設が身近に感じられ、又職員は今まで気付かなかった事を知り得ることができ良い機会となっている。又作品を展示する機会を設けることで制作意欲も向上し、なかには自宅で制作する方もおり力作がたくさんできている。5月の連休には7日間、東日本大震災の復興支援チャリティーイベントを開催、作品の展示即売会を行った。多くの方にご来場いただき、売上金12万円余りを義援金として被災地へ寄付した。このように当初は思いもよらぬことが展開し事業の本来の目的以外の効果も現れてきている。

◆今後の展開

当初13名だった参加者は現在38名。展示会などを行うことにより口コミで広がり少しずつ増えている。しかし男性は6名と女性に比べ圧倒的に少ない。農村地帯であり退職後は趣味と実益を兼ねた家庭菜園を楽しむ人が多いからか、また施設という場所は男性にとって馴染みが少ないからかもしれない。来年度は男性にも参加しやすいように事業内容の検討をしている。事業継続を今後の目

標とし、成果は未知数だが笑顔が集う交流の場所として地域住民に役立てていただきたいと考えている。

◆主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
備品(初年度のみ)	1,750,650円	特養会計から	1,750,650円
講師謝金	200,000円	法人本郡から	344,800円
光熱水費	94,800円		
消耗品費	50,000円		
<合計>	2,095,450円	<合計>	2,095,450円

- ・取り組みに係わった職員数 6名
(職種等：管理者、総務部、事務員、介護職、運転手)
- ※法人全体の事業規模
(平成22年度決算の事業活動収入) 1,638,184千円



東日本大震災復興支援チャリティー即売会



作品展示風景



絵手紙教室